

1 1 乾草をつまんで運べるヘイピンチャー (Hay Pincher)

キーワード	乾草、摘む、運搬
担当	十勝牧場 飼料課
連絡先	電話：0155-44-2131 ファックス：0155-44-2215 電子メール：nlbc_tokachi@nlbc.go.jp

1 背景・ねらい

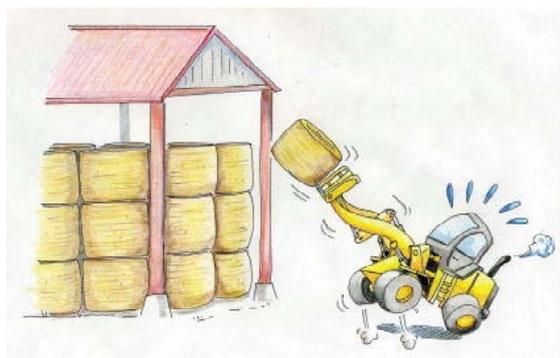
一般的に、ロールバール乾草を草地で拾い上げたり、トラックに積み込んだり、収納舎に積み上げたりする作業には、フロントローダーやトラクターのフォークで突き刺す方法や専用のロールグラブを利用する方法が採られています。

しかし、こうした方法では、

- ① ロールバール乾草を1個ずつしか扱えないために時間を要する。
 - ② 収納舎の高い位置のスペースを有効に利用できない。
- などの問題があります。

そこで、ロールバール乾草を2個いっしょにつまんで安全に扱えるアタッチメントを考案しました。

こんなことはありませんでしたか？



もう1段積みたいけど届かない



重ねれば届くけど不安定で危険

2 内容・特徴・効果

市販のロールグラブは、大きなアームでロールバールを抱え込むように「つかむ」構造になっています。一方、考案したヘイピンチャーは、小さなカニ爪でロールバールの前方だけを「つまむ (pinch)」構造としています。

こうすることにより、収納舎にロールバール乾草を左右隙間なく積み込んだり、収納舎から容易に取り出すことが可能です。もちろん、ロールバール牧草を2個ずつ扱えるので作業効率も高くなります。

現在、農機具メーカーと共同でさらに改良を進めており、平成18年6月頃には市販化される予定です(1機当たり60～70万円の予定)。



ヘイピンチャー全景



開いた状態



閉じた状態



ロールの手前のみをつまみます。



ロール牧草を2個いっしょに扱えます。



収納舎への積み込み作業も効率的に行えます。

写真 ヘイピンチャーの構造及び作業の様子